

平成 30 年度入学者選抜 作 文

注 意

- 1 指示があるまで、この用紙を開いてはいけません。
- 2 文字などの印刷がはっきりしないところがあれば、静かに手をあげなさい。
- 3 作文の時間は 50 分間で、終わりは午後 3 時 20 分です。
- 4 声に出して読んではいけません。
- 5 受験番号を解答用紙の決められたところに記入しなさい。名前を書くところはありません。
- 6 題名は付けずに、本文から書き始めなさい。
- 7 文は解答用紙のますの中に書きなさい。ますの外やうら面には書かないこと。
- 8 書き直すときには、きれいに消してから、新しい文を書きなさい。

作文問題

これまでも、東京に政治や経済、文化などのいろいろな機能が集中していることが大きな問題になってきました。現在も東京などの都会(大都市)は、人口も、経済を活発にさせるための資金も集中して、ますます巨大化^{きよだい}しています。また、田舎^{いなか}(地方都市)では、特に若い人たちが減少しており、今後、活気が失われていくことが心配されています。

福井県の場合、多くの若者を都会の大学や企業^{きぎょう}に送り出すとともに、エネルギー(電気)や食料を供給する(送り与える)など、都会の活動を支え続けています。

一方で、都会には国内だけでなく世界から多くの人や企業が集まっており、田舎の情報を国内外に発信したり、田舎のものを流通させたりするなど、都会は田舎の活動^{こうけん}に貢献している面もあります。

あなたが旅行に行ったり新聞で読んだりするなど見聞きして感じた都会の良さや課題は何ですか。また、それらの良さや課題のある都会に対して、今後、福井県はどのようにあるべきだと思いますか。都会と福井県との関係性(例：対抗^{たいこう}、協力等)を明確にしなが、将来あるべき福井県の姿についての提案を、500字～600字で書きなさい。